

カメラと写真・映像の総合展「CP+ 2025」

パシフィコ横浜で2月27日-3月2日開催 幅広いニーズに応える製品展示

クリエイターによるトークステージも

カメラ映像機器工業会(CIPA)は、カメラと写真映像のワールドトップレミアショー「CP+(シーピープラス)2025」を2月27日-3月2日の4日間、横浜市西区のパシフィコ横浜での会場イベントとオンラインイベントのハイブリッド形式で開催する。今年も過去最多となる125の企業・団体が出展(2月13日時点)、例年からさらに会場スペースを拡大しての実施となる。入場無料。

過去最多の企業・団体が出展

初心者からプロまで幅広いユーザーを対象にしたCP+は、コロナ禍の後、毎年拡大を続け、今回からパシフィコ横浜・展示ホールだけでなく、アネックスホールまで規模を拡大し、さらに充実した内容で展開する。今回は「撮る」「見る」「つなげる」をテーマに、各社の新製品展示をはじめ、写真家や映像クリエイターによる充実のステージイベント、多彩な写真展、SNS世代や若いクリエイターに向けた写真・動画撮影のワークショップなどの企画イベントを取りそろえている。『CREATORS EDGE Spring Edition』として次の6講座を開く。



最新の写真・映像撮影機材が一堂に集結する (写真は昨年の様子)



会場ではさまざまなイベントが開催される (同上)

「撮る」は「見る」の前提として、撮影機材の進化は、映像表現の可能性を広げる。未来のエンタテインメントをあらゆるクリエイターと共創していくことを目指している。

ソニー 最新のデジタル一眼カメラ 撮影コーナーで実機を体験

「レンズ交換撮影体験コーナー」では、来訪者が持参したαシリーズのカメラに好みのGマスターレンズを選んで装着して撮影できる。テコンドローや剣道、トリッキングといったスポーツシーンやポートレートなど、さまざまな被写体を撮れる。また、ソニーの「Creators Cloud」で提供する動画クリエイターの撮影から制作は次のとおり。

「α1 II」フラッグシップモデルの紹介と、Creators Cloudでの体験コンテンツの紹介。また、α1 IIの外部モニター「Catalyst Prepare」などの最新機能についても触れている。

- ◆17時20分-18時 「差別化を生むコマース」(曾根隼人氏/映像ディレクター、BAABEL)
- ◆21時35分-12時15分 「心動かすサウンドデザイン」(石田裕一氏/フィルムメーカー)
- ◆27日17時20分-18時 「AIから見るクリエイターのためのAI特集」(長山一樹氏/写真家)
- ◆27日18時30分-19時10分 「撮影という仕事に味わえる多数のセッティング」(鈴木親氏/鈴木親氏)
- ◆28日11時35分-12時15分 「撮影力対決!写真を楽しむ光と照明の考え方」(Youtube写真機カキナカ)
- ◆3月2日10時30分-11時10分 「映像作品における光のつくり方」(柿本ケンサク氏/映像作家)

EXA INTERNATIONAL 映像資産DXサービス 大切な映像資産を次世代へ。お客様のニーズに合わせ、段階的なアーカイブ化と時代に合ったリマスタリングをご提案致します。LTS-90 対応LTOサーバー、LTS-MAM、データ保管、アーカイブ管理・運用などのサービスを紹介。

RAID REDの新製品

Zマウント対応カメラ披露 初出展のThyposchレンズも

RAIDは、CP+2025に先駆けRED Digital Cinemaカメラとともに従来のカメラも加え、「ShotO」マウントレンズがあれば、

CP+2025 特集

会場では、RED社製カメラの魅力



V-Raptor[X]

また、レンズブランド Thyposchの「Simeras」シリーズに新たに加わった21mmと75mmのレンズを初出展する。Simerasシリーズは、クラシックな描写と最先端技術を融合させた高品質なレンズとして、世界中の映像クリエイターやフォトグラファーから支持を集めている。今回の21mmと75mmの追加により、より多彩な表現が可能となり、幅広い撮影ニーズに応えるライ

エンジェルボード

CFexpress v4 Type Bカードを展示

Angelbird ARRIやREDなど映画業界を代表するカメラメーカーの純正メモリーカードの開発・供給も手掛けた、優れた耐久性と安定性で定評がある。新製品のCFexpress v4 (4.0) Type Bカード「AV PRO SE」を加え、



AV PRO SE CFexpress B v4

このほか、プロの写真家とのコラボレーションイベントやYouTubeのライブ配信、ユーザー交流会などの多彩なイベントでRAIDブースを盛り上げる。

EIZO HDR対応の24.1型モニター 正しい色設定に自動切り替え

EIZOは、HDR映像の表示に対応した24.1型カラーモニター「ColorEdge CG2400S」を展示する。現在の「CG2400Z」を大幅に進化させた後継機種「ColorEdge CG2400S」を展示する。



CG2400S

また環境配慮の取り組みとして、シリーズで初めて製品の外装に再生プラスチック材を使用。使用率はEIZOモニターで最高水準の85%に達した。入力端子はUSB Type-Cとし、画面表示、USB信号の伝送に加え、ノートPCへの70W給電が可能。映像制作にはDCI-P3、BT・2020モードを搭載し、3D LUTを活用した正確な色表示ができる。製品はよりコンパクトなものへのニーズに応え、24.1型1920×1200解像度でHLGとPQを表示する。コントラスト比は1800対1。

キヤノン

コンデジも動画機能強化 「PowerShot V1」を発表

キヤノンは手軽に本格的な静止画・動画撮影を楽しめる「PowerShot V1」を発表する。2023年発売のVlogカメラに続く「PowerShot Vシリーズ」の製品。1.0型センサーの2倍の面積を持つ1.4型CMOSセンサーを搭載し、高画質・高感度を実現。焦点距離約16-50mmをカバーし、複数人での自撮りからスナップ撮影



PowerShot V1

PowerShot V1は、Vlogまで幅広い場面でも利用できる。冷却ファンを搭載し、長時間の動画撮影に対応するほか、キヤノン初となる「被写体追尾IS」を搭載。撮影者が選択した被写体の位置を、画面中央や選択位置に安定して撮影できる。高性能AFや多彩な撮影モードなどクリエイターから求められる機能も備えている。

Ginza Sakuraya

TOTAL AV SOLUTION

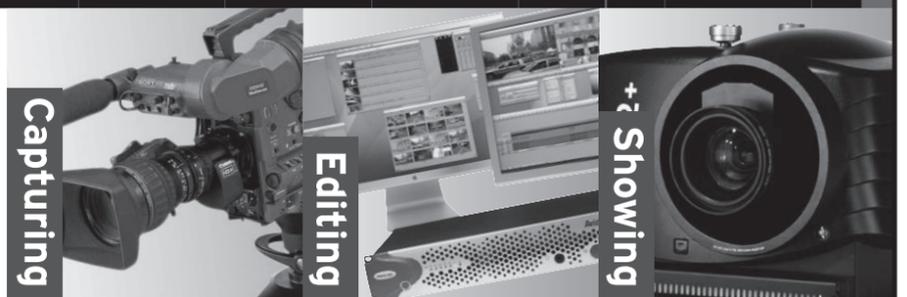
ハイクオリティな映像表現に必要な機器のすべてを、トータルにサポートできる豊富なラインナップと技術力。

それが、プロフェッショナルたちに選ばれる理由。

Capturing 撮る

Editing つなぐ

▶▶ 銀座サクラヤのCESコンセプト Showing 見せる



映像・音響機器のレンタル・販売

株式会社 銀座サクラヤ

http://www.ginzasakuraya.com

RED

V-RAPTOR [X] Z MOUNT KOMODO-X Z MOUNT



ULTIMATE LENS VERSATILITY

比類の無いシネマクオリティのイメージとパフォーマンスを発揮する V-RAPTOR [X] と KOMODO-X に Z マウントモデルが登場。新たな選択肢の追加により、さらなる柔軟性を実現します。

株式会社 RAID

お問い合わせ先：TEL 03-5765-2044 <https://www.raid-japan.com/>

RAID